第１２１回　経営協議会（定例）議事要旨

日　時　　令和２年６月２５日（木）１３：３０～１５：０３
場　所　　事務局特別会議室（４階）

議題１．平成 31 事業年度に係る業務の実績及び第３期中期目標期間（平成 28～31 事業年度）に係る業務の実績に関する報告書（原案）について（資料１）
議題２．第３期中期目標期間の教育研究評価に係る実績報告書（中期目標の達成状況報告書（案）及び学部・研究科等の現況調査表（案））について（資料２）
議題３．令和元事業年度決算について（資料３）
議題４．令和３年度概算要求について（資料４）
議題５．令和２年度競争的資金等に係る間接経費（研究管理経費）の配分について（資料５）
報告事項１．経営協議会学外委員による学内視察及び教育研究評議会評議員等との意見交換会について（資料６）
報告事項２．令和元年度卒業・修了者の進路状況について（資料７）
報告事項３．本学教育研究評議会での審議事項等について（資料８）
報告事項４．記者発表事項等について（資料９）
協議事項１．水産学部（附属練習船及び附属施設等を含む）の経営の現状と今後について（資料１０）
その他

［出席委員］　１３名
佐野学長
（理事）馬場、越塩、岩井、山木
（学内委員）坂本
（学外有識者）池田、岩切、月野、坪内、津曲、福元、山野

［欠席委員］　　２名
（理事）武隈
（学外有識者）宮原

［オブザーバー］
（理事）萩元
（監事）伊牟田、押越
（副学長）森、渡邊
（学部長等）松田、有倉、岡村、河野、西村、木下、橋本、佐久間、三角、本間、於保、宇都宮、寺田
（副学部長等）上西、石川、吉川（全員協議事項１のみ）

冒頭、学長から、新体制による初めての経営協議会に際して挨拶があった後、資料（名簿）に基づき委員等の紹介があった。

議題１．平成 31 事業年度に係る業務の実績及び第３期中期目標期間（平成 28～31 事業年度）に係

る業務の実績に関する報告書（原案）について（資料１）

学長から、平成 31 事業年度に係る業務の実績及び第３期中期目標期間（平成 28～31 事業年度）に係る業務の実績に関する報告書（原案）について諮られ、岩井理事から、第３期中期目標期間（平成 28～31 年度）４年目終了時における業務の実績は、文部科学省の国立大学法人評価委員会の評価を受けることになっており、６月 30 日（火）までに業務の実績に関する報告書を提出する必要があるため、原案を作成したこと等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、今後、修正等は学長の一任とすることが確認された。

議題２．第３期中期目標期間の教育研究評価に係る実績報告書（中期目標の達成状況報告書（案）及び学部・研究科等の現況調査表（案））について（資料２）

学長から、第３期中期目標期間の教育研究評価に係る実績報告書（中期目標の達成状況報告書（案）及び学部・研究科等の現況調査表（案））について諮られ、岩井理事から、第３期中期目標期間における「中期目標の達成状況報告書」及び「学部・研究科等の現況調査表」は、文部科学省の国立大学法人評価委員会の評価を受けることになっており、６月 30 日（火）までに（独）大学改革支援・学位授与機構へ提出する必要があるため、原案を作成したこと等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、今後、修正等は学長の一任とすることが確認された。

議題３．令和元事業年度決算について（資料３）

学長から、令和元事業年度決算について諮られ、山木理事から、令和元事業年度決算の概要について、財務諸表を６月 30 日（火）までに文部科学省へ提出する必要があるため、原案を作成したこと等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

議題４．令和３年度概算要求について（資料４）

学長から、令和３年度概算要求について諮られ、山木理事から、運営費交付金の重点支援に係る機能強化経費（機能強化促進分、共通政策課題分）及び学部・大学院組織整備等の令和３年度概算要求事項等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、概算要求事項の選定・要求順位・要求額等については、文部科学省の概算要求の方向性等を踏まえ、最終決定は学長一任とすることが確認された。

議題５．令和２年度競争的資金等に係る間接経費（研究管理経費）の配分について（資料５）

学長から、令和２年度競争的資金等に係る間接経費（研究管理経費）の配分について諮られ、山木理事から、鹿児島大学間接経費の取扱要項に従い、各部局の見積りによる科学研究費補助金・補助金・産学連携等研究費等の収入見込額を原資に、全学分と部局分に折半して支出予算として配分し、全学分については、研究開発環境の改善経費や産学官連携活動支援経費等に充当する予定であること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

報告事項１．経営協議会学外委員による学内視察及び教育研究評議会評議員等との意見交換会について（資料６）

学長及び越塩理事から、経営協議会学外委員による学内視察及び教育研究評議会評議員等との意見交換会を８月３日（月）に開催予定であること、今回は「経営協議会・１年を振り返って」と題し、令和２年６月までの経営協議会協議事項で黄色箇所の学外委員からの意見の本学対応等について意見を伺い、該当の各部局長等から回答いただく予定であること等資料に基づき説明があった。

報告事項２．令和元年度卒業・修了者の進路状況について（資料７）

学生部長から、令和元年度卒業・修了者の進路状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項３．本学教育研究評議会での審議事項等について（資料８）

学長から、本学での動向等を把握していただくために教育研究評議会での審議事項等を添付している旨説明があった。

報告事項４．記者発表事項等について（資料９）

学長から、本学の最近の主な記者発表事項等の記事を添付している旨の説明があった。

協議事項１．水産学部（附属練習船及び附属施設等を含む）の経営の現状と今後について

学長から、今回の協議事項は、附属練習船及び附属施設等を含む水産学部の経営の現状と今後について提案した旨説明があり、引き続き、佐久間水産学部長から、水産学部（附属練習船及び附属施設等を含む）の経営の現状と今後について、資料に基づき説明があった。

説明の後、各委員から次のような意見等があった。

① 水産学部の目的は何で、将来どうしたいのか。また、他大学水産学部との違いは何か。なお、現在、気候が年々変化しており、漁場、魚種等変わると思われるが、いかに速く情報をキャッチし、どのように対処しているのか。

② 水産学部のブランディングとしての黒潮学の成果はどうか。今後どの点に重点を置いてその研究を進めていくのか。また、鹿児島大学の特徴を踏まえた上で、教育分野である５分野をもっと絞り込んで、特色のある大学にしていくという計画がないのか。なお、日本の亜熱帯化と水産学に力点・重点を移していけば日本の漁業に対する貢献度がかなり大きくなるのではないか。

③ 鹿児島ならではのユニークさ、施設、機能、立地状況等の強みを活かした取組が必要ではないか。また、多様性豊かな隆起珊瑚礁の島や、珊瑚礁の内側の海域等、環境面や環境レジャー等を活かしてはどうか。

④ 水産学部が大変人気がある学部だと理解したが、経営が厳しいのであれば附属練習船は２隻必要なのか。また、附属練習船の稼働率は無理してでも上げていく必要があるのではないか。あと、国や民間企業から外部資金を貪欲に獲得していくことが必要である。また、農学部及び共同獣医学部等との連携にも非常に大事な学部であるので努力していただきたい。

その他

次回（定例）は、令和２年９月 24 日（木）13 時 30 分からとなった。